

令和6年度指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施 設 の 名 称	むつ市ウェルネスパーク・むつ市総合アリーナ	
指 定 管 理 者	団 体 名	山内土木株式会社
	代 表 者	代表取締役 山 内 将 邦
	所 在 地	むつ市大湊新町 37 番 12 号
指 定 期 間	令和4年4月1日～令和7年3月31日（3年間）	
指 定 管 理 業 務 の 概 要	1 施設の使用許可に関すること。 2 施設の利用料金徴収に関すること。 3 施設の維持、管理及び修繕に関すること。 4 施設の特性を活かした利用促進に関すること。 5 その他施設の設置目的を達成するために必要なこと。	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②－①)
収 入 合 計 (A)	230,852	245,997	15,145
うち利用料金額	30,620	30,213	△407
うち指定管理料	199,878	215,421	15,543
支 出 合 計 (B)	230,852	249,755	18,903
う ち 人 件 費	103,720	109,216	5,496
収 支 差 (A － B)	0	△3,758	△3,758
市 へ の 納 入 金	0	0	0
計画額と比較した 実績額の増減理由	収入については計画どおりでしたが、電気料・燃料費の高騰に対する指定管理料の補填があったため、増となりました。 しかし、人件費・物価高騰により支出が増えたため、収支でマイナスとなりました。		

３．施設利用の状況

単位：人

利 用 者 数	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②－①)
	むつ市ウェルネスパーク			
	センターハウス	21,564	20,788	△776
	克雪ドーム	55,808	92,147	36,339
	見学	46,056	46,032	△24
	会員	0	234	234
	合計	123,428	159,201	35,773
	むつ市総合アリーナ			
	ボルダリング	5,866	4,658	△1,208
	ランニング	647	764	117
	貸切利用	64,795	163,972	99,177
	見学	0	697	697
	合計	71,308	170,091	98,783
	利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（㊦・無）			
	【利用者の声】 土日に常にドームをランニングできるようにしてほしい 【対応】 大会等の兼ね合いもある事から、“常に”という事は難しいですが、平時の場合においてはできる限り確保できるように調整を行ってまいります。 【利用者の声】 トイレをウォシュレットに変えてほしい（複数回答有） 【対応】 担当課と協議致します。			

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出
むつ市ウェルネスパーク・むつマエダアリーナ（むつ市総合アリーナ）自主事業	49,649	29,955	25,400

5. 個別項目評価※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B（適正）：計画された業務水準を概ね達成した。

C（要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	A	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	A	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	A	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	A	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	A	B

評価項目		自己評価	市の評価
	②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
	③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	A	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況			
	①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
	②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	A	A
	③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	A	B
	④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況			
	①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	A	B
	②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	A	B
	③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	A	B
	④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目の改善策を記載すること。

(1) ①両施設の休館日が異なる為、各施設の状況や問い合わせを、いずれの日においても双方の施設で行う事が可能となりました。大会主催者との打ち合わせを適切に行うことにより大会当日の開館時間について柔軟に対応し利便性向上に努めました。 (1) ③接客に関しお褒めの言葉を頂くことも多くサービス向上に寄与したと考えております。 (2) ①LINE でのオンライン予約、3 ヶ月先までの予約状況の Web 公開などのオンライン関係について強化し、そこからの新規利用者や各種団体との円滑な打ち合わせ等に対応できたと思います。 (2) ②Youtube チャンネル、TikTok アカウンドを継続的に運用し、SNS イベント等も開催し若い方を中心とした非常に多くの方に目にして頂く機会を設けられたと思います。 (3) ①維持管理職員のスキルアップを行う事で、今まで以上に自社で修繕を行える技術を習得し大幅な管理費の削減に努めました。

(3) ③年間資格取得数 8 件、全体研修各 12 回ずつ計 24 回を実施し資質、能力向上に努めました。

(4) ②修繕発生時には、市と連携し問題解決に向けて事象の共有や工事業者との連絡を迅速に取り施設維持に貢献できたと思います。

(4) ③法令違反は 1 件もございませんでした。

(5) ①3 ヶ月先までの予約状況の Web 公開、ウェルネスパークに関しましては今までの予約方法を大きく変更し 1 ヶ月先までの予約ができるようにし、利用者の方々が平等に利用できるように努めました。

(5) ②③維持管理職員による毎事巡回点検、全部署による迅速な情報共有、毎月の全体研修会の実施、火災だけではなく地震を想定した避難訓練の実施をする事により危機意識を常に持ち、安心して安全な施設環境の提供ができたと考えております。

7. 市の所管課総合評価 ④市の評価を C とした項目についての指導内容も記載すること。

- ・事業計画に基づき、適切に施設の運営・維持管理が行われていた。
- ・電気料の高騰が継続している中で、こまめな消灯や空調コントロールを行うことで節減に励むとともに、電力会社が実施する DR サービスへ積極的に参加し電力使用量を意識的に調整し節電対策に努めた点は評価する。
- ・職員のスキルアップに力を入れることにより、可能な限り設備等の修繕を自社で行うことで維持管理費の削減に励んだ点を評価する。今後も積極的に資格取得や研修に取り組み、職員の資質向上に努めることを期待する。
- ・利用者が求めるニーズの把握に努め、それに基づいたサービスの提供を心掛けている点を評価する。利用者数の増加につながるよう、より一層、利用者のニーズに則したサービスの提供を期待する。